

ブラック企業の実態

名古屋学院大学
経済学部経済学科 伊沢ゼミ

奥村 太田 小林 田中 二宮

1.日本と海外の働き方の比較

2.ブラック企業の特徴

3.プレミアムフライデー

4.AIの導入

5.ブラック企業の今後

問題提起

なぜブロック企業は
なくならないのか？

1. 日本と海外の働き方の比較

日本は働きすぎ？！海外との比較

日本人の有休消化率、2年連続最下位...



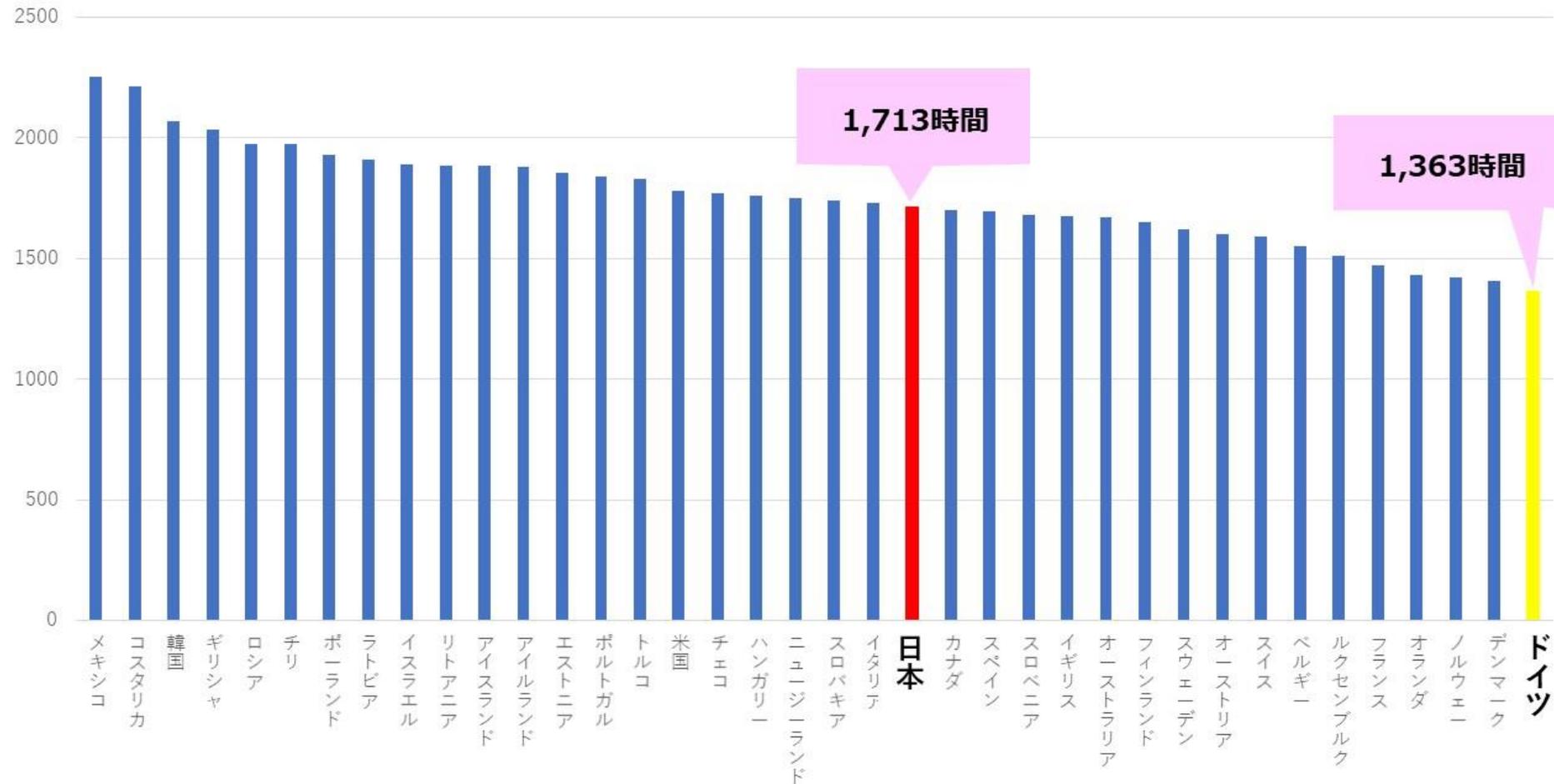
日本と近い国を探してみよう？！

- 日本の面積は377,915平方キロメートル。ドイツは357,022平方キロメートル。日本とドイツは面積がほぼ同じです。
- ドイツは生活水準が日本と同じくらい。
- どちらとも経済大国



ドイツと日本の労働時間

世界の労働時間 国別ランキング・推移 (OECD) 2016年



ドイツと日本(国民一人当たりGDP)



自動車

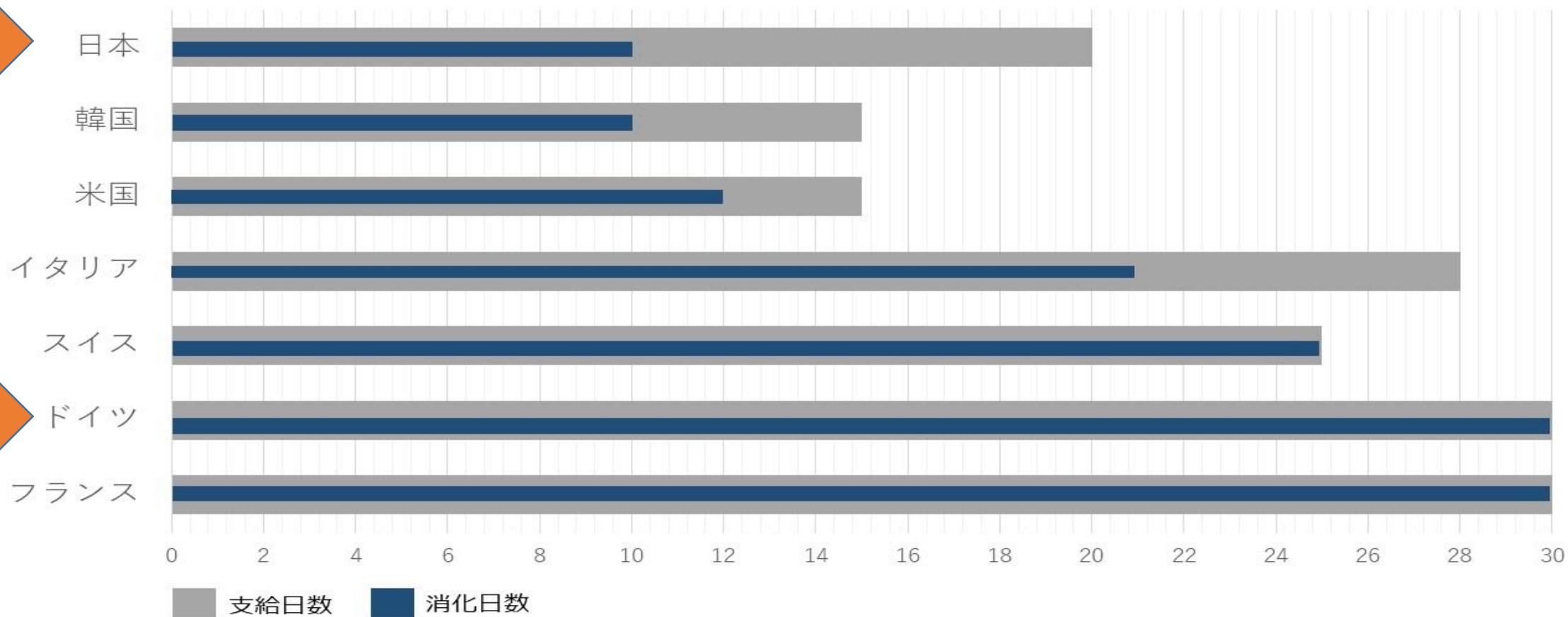
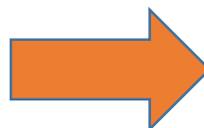
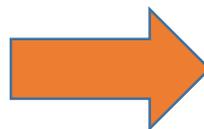
- 1 フランス 535万2889
- 2 ドイツ 465万1053
- 3 日本 463万4033
- 4 アメリカ合衆国(米国) 265万3688
- 5 大韓民国(韓国) 262万1715
- 6 スペイン 243万2401
- 7 英国 140万4285
- 8 インド 86万7101
- 9 イタリア 71万6322
- 10 中華人民共和国(中国) 70万8261

ドイツと日本を比べる理由

	自動車輸出	製造業	一人当たりのGDP	所得水準
ドイツ	466万1056台	車	44, 549	580万円
日本	463万4013台	車	38, 439	469万円

日本とドイツの有給休暇

有給休暇の国際比較調査（2017年）



日本とドイツの違い(まとめ)

	年間労働時間	平均有給日数	有給取得率
ドイツ	1,363時間	27日	92%
日本	1,733時間	18日	48%

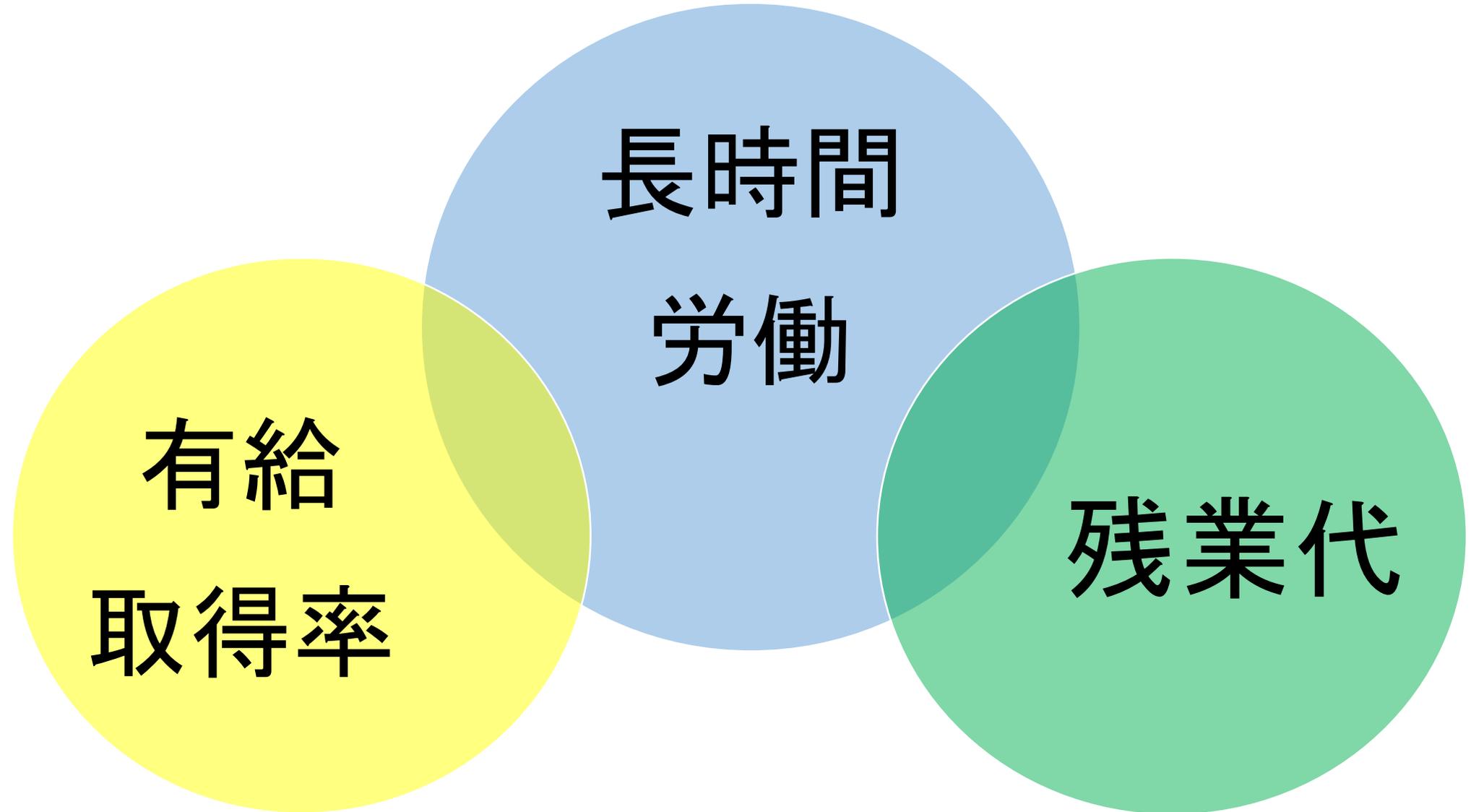
日本とドイツ(まとめ)

- ・労働に関する制度面
- ・ワークライフバランス
- ・休暇を取得する意識の高さ



2.ブラック企業の特徴

ブラック企業の特徴(弁護士)



ブラック企業イメージ業種別ランキング

(20歳以上の男女約7000人対象)

- 1位・・・IT・メディア(18.2%)
- 2位・・・飲食(13.5%)
- 3位・・・サービス(13.3%)
- 4位・・・建設・不動産(11.6%)
- 5位・・・物流・運送(11.4%)

業界別残業

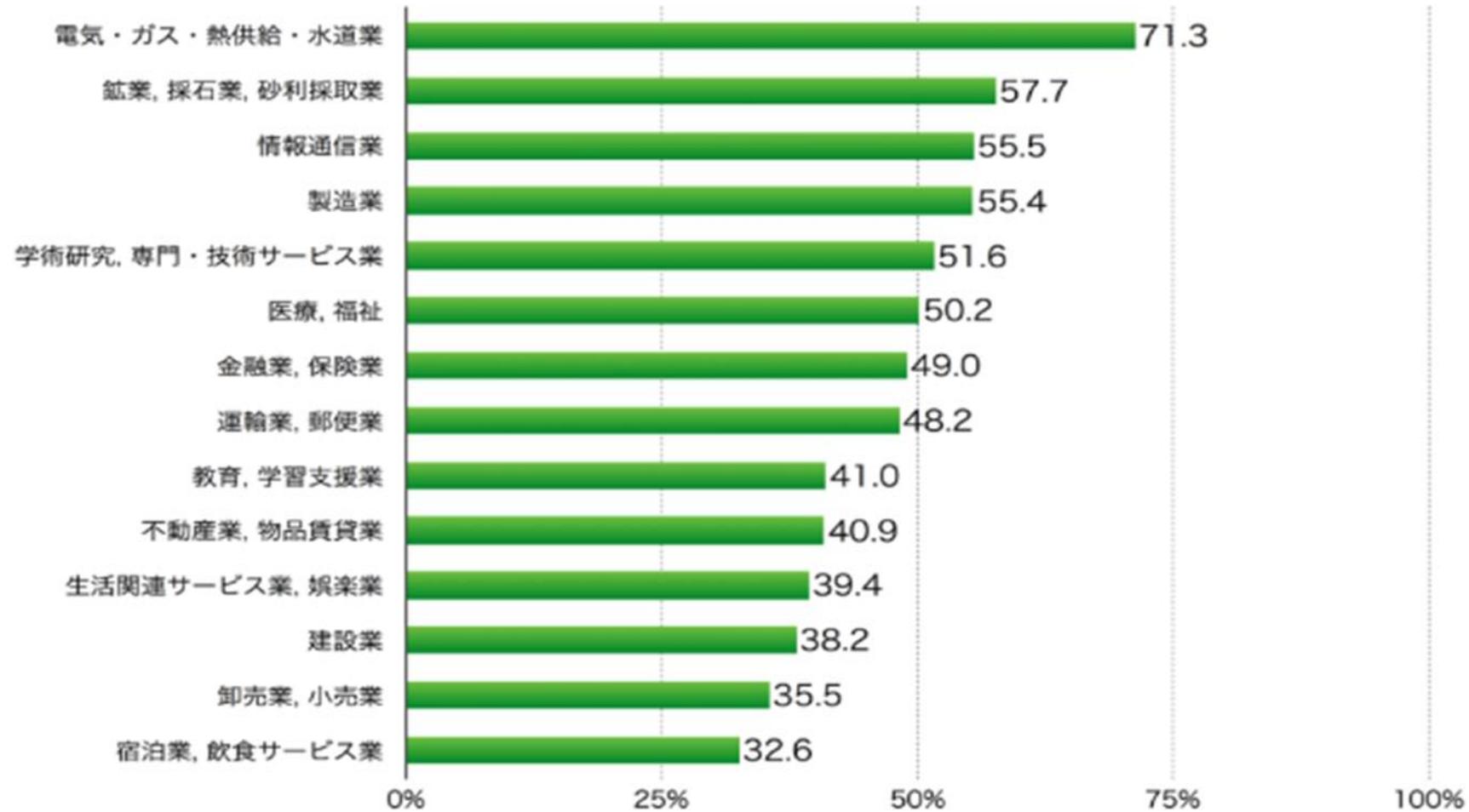
業種別残業ランキング

- 1位コンサルティング (83.5)
- 2位マスコミ (78.6)
- 3位不動産 (70.8)
- 4位IT・メディア (63.6)
- 5位サービス・飲食 (62.0)

*「みなし残業」があるので一概には言えない

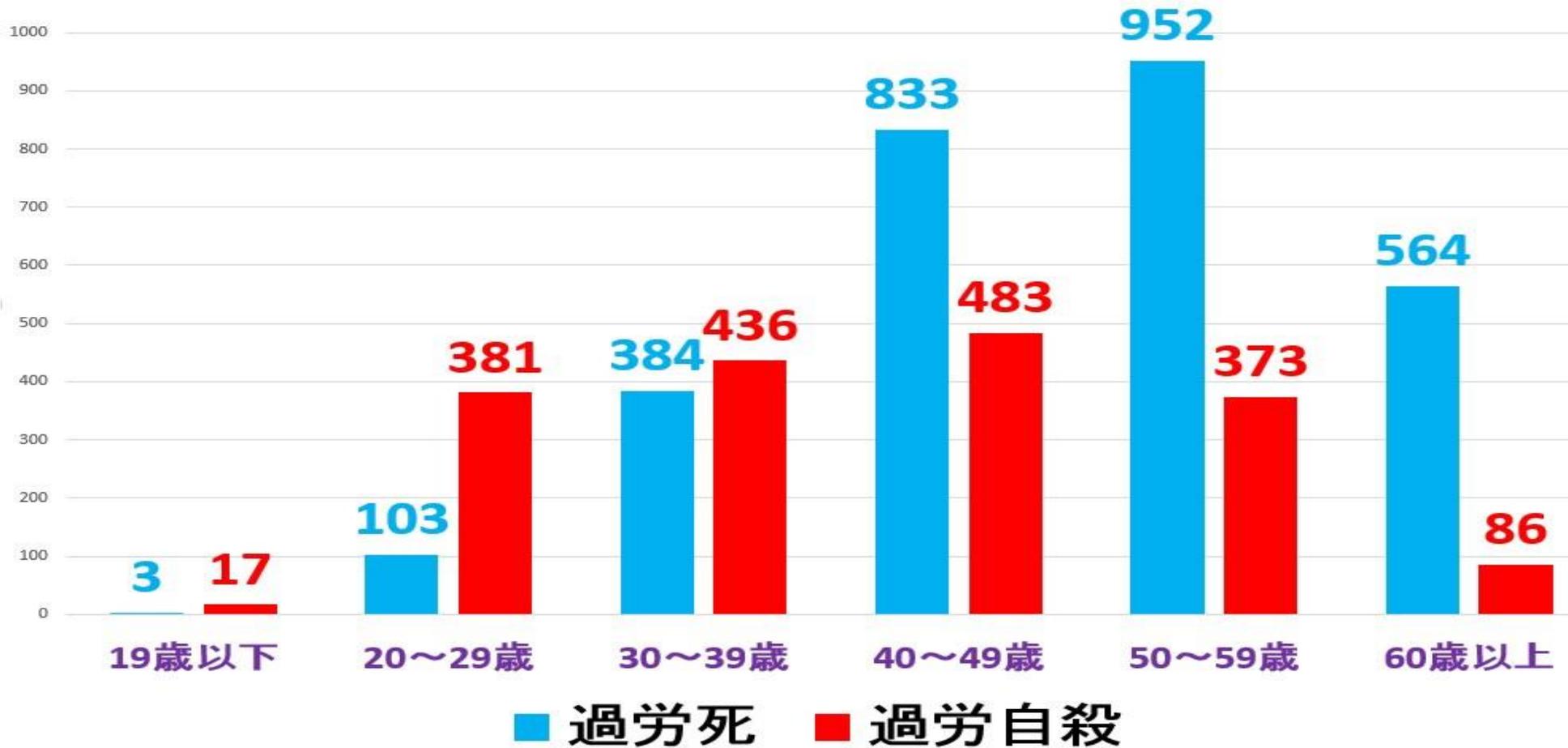
<https://news.mynavi.jp/article/20161004-a306/>

産業別・年次有給休暇の取得率 (H28)



過労死・過労自殺の年齢別件数

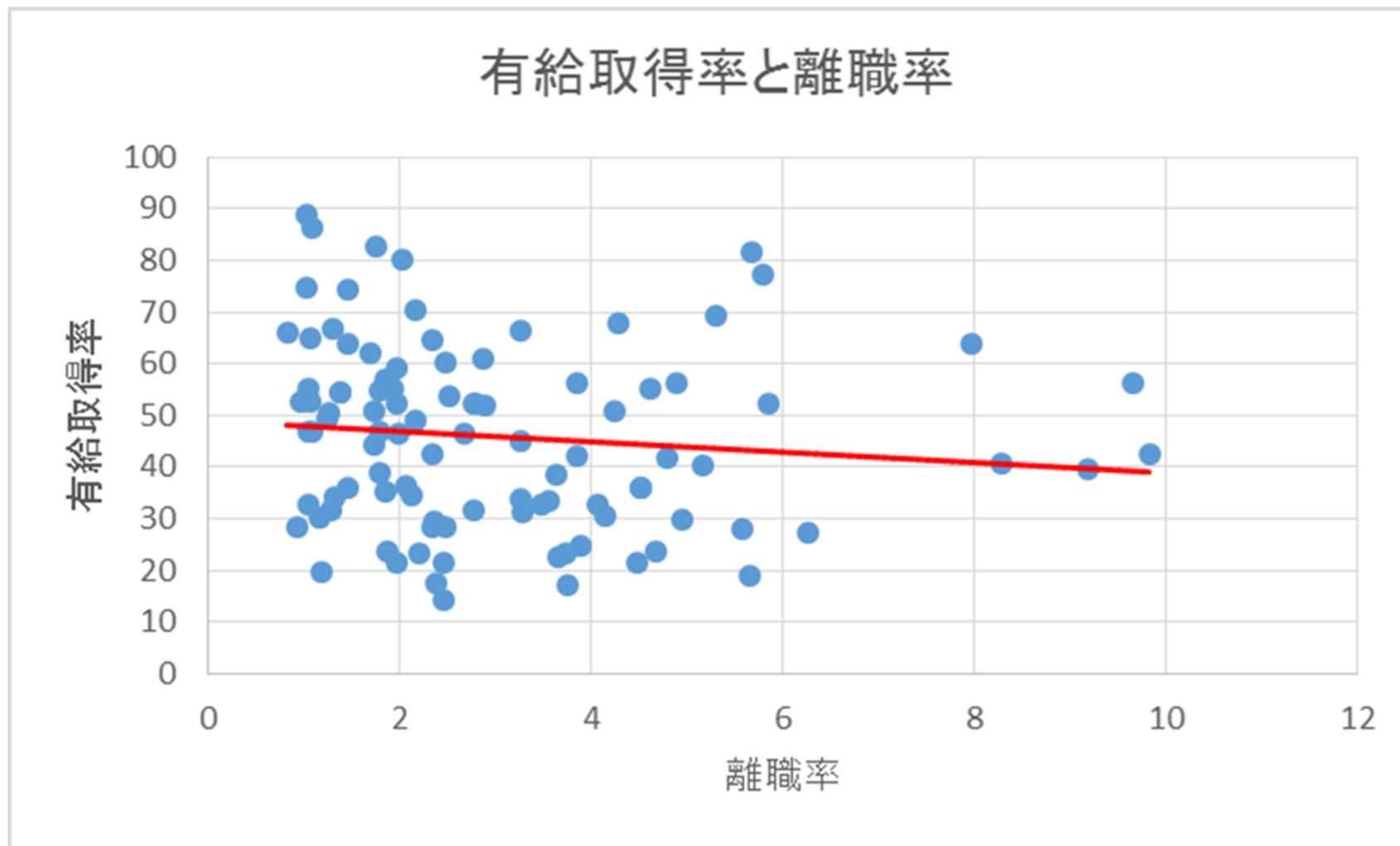
2006～2015年度の労災請求件数(厚生労働省資料より作成)



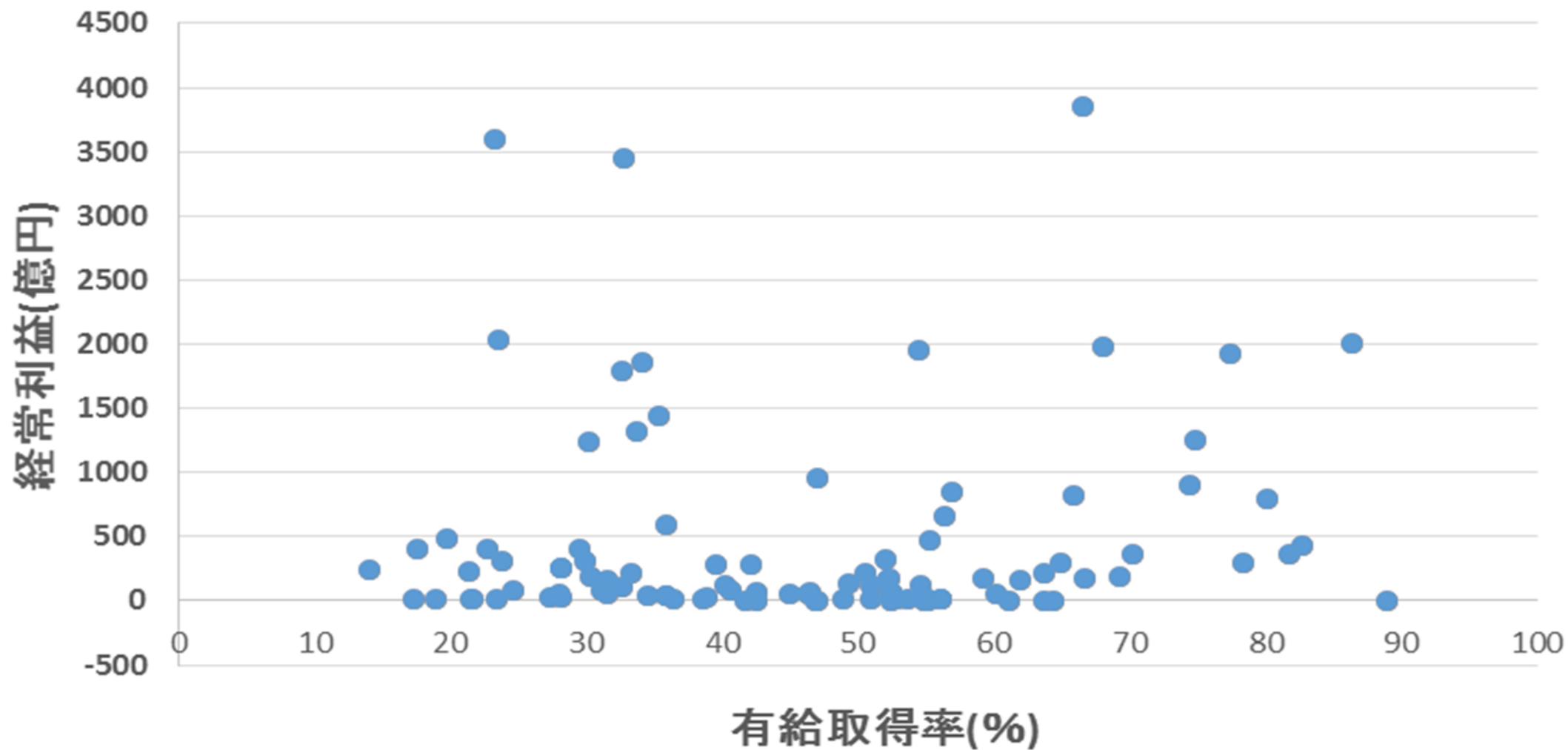
無作為に選んだ企業

- 食品・・・25社
- 電気・・・10社
- 建設・・・30社
- IT企業・・・10社
- 林業・・・5社
- 水産業・・・10社
- 紙 パルプ・・・10社

有給取得率と離職率との関係



経常利益と有給取得率の関係



有給取得率と見る企業の業績

- 3年平均有給休暇取得率の1位から25位と、275位から300位で比べ、売上高との相関を調べた。

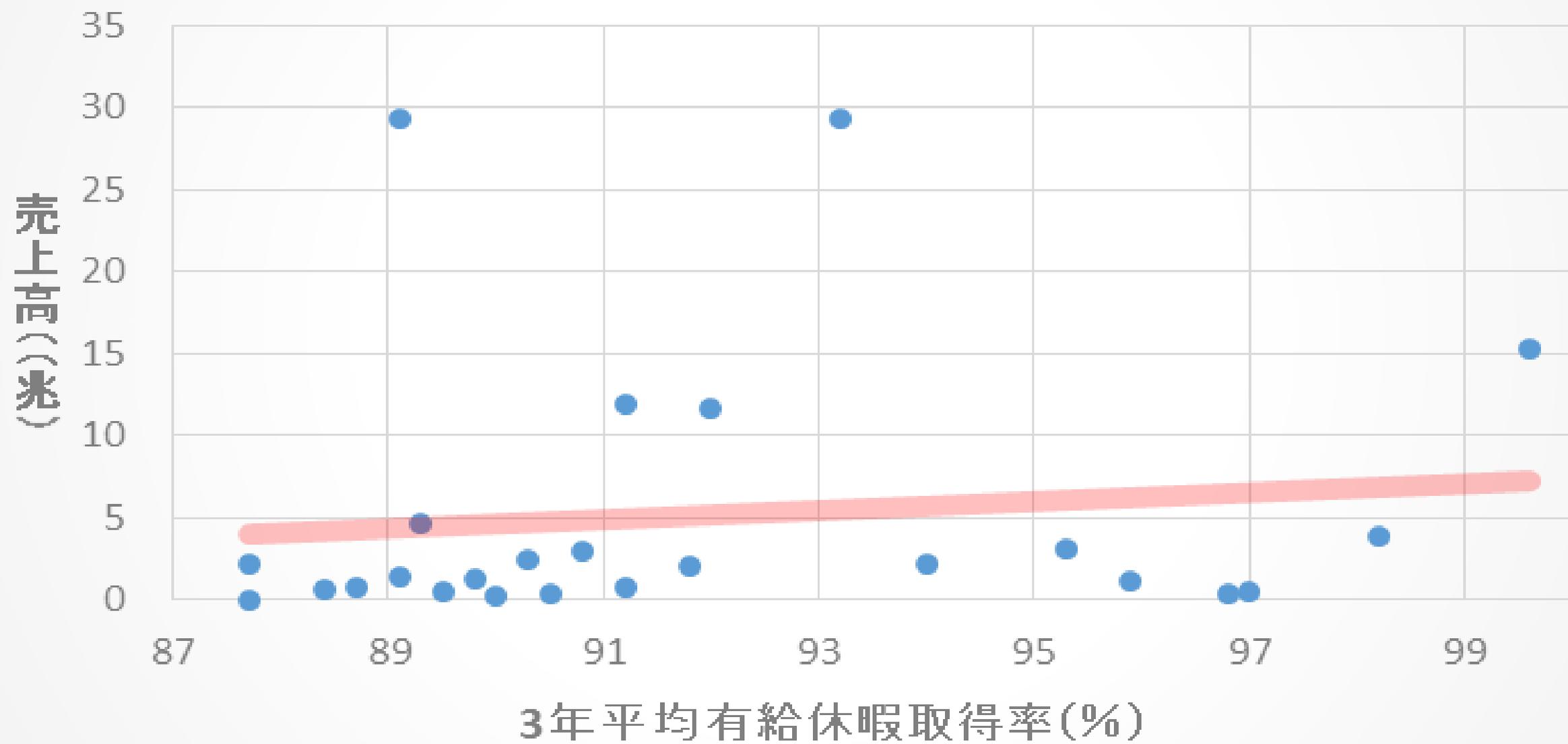
- 有給休暇取得率

(東洋経済「CSR企業総覧」有給取得率の高い企業300社
<https://toyokeizai.net/articles/-/209145>)

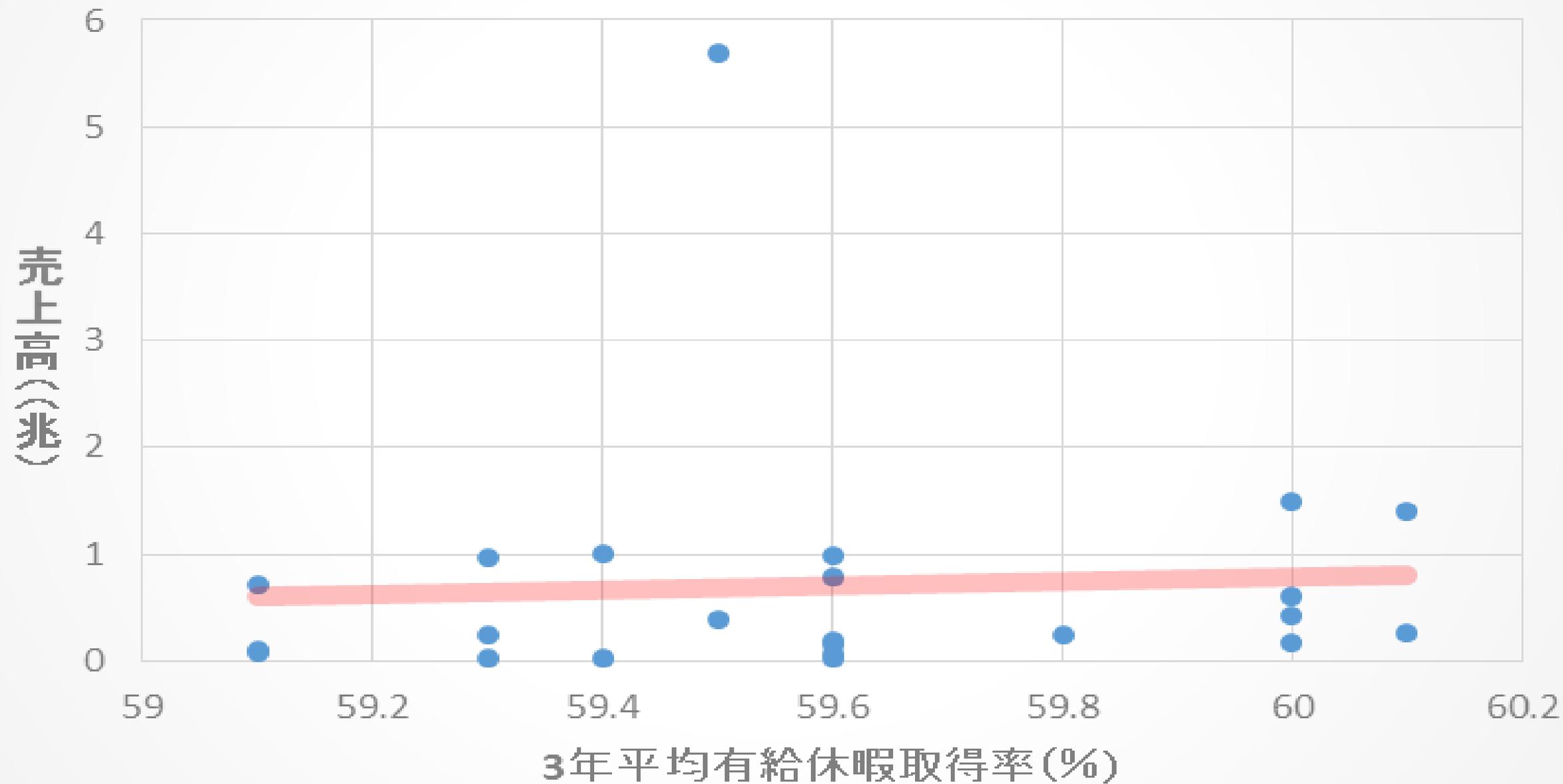
- 売上高

(企業価値検索サイト「Ullet」[Ullethttp://www.ullet.com/](http://www.ullet.com/))

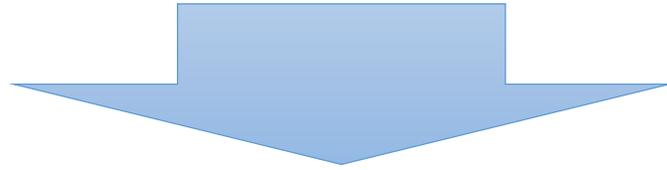
有給取得率87%~100%



有給取得率59%~60%の会社



3年平均有給休暇取得率と売上高には
「正の相関」がみられた



有給取得率が高くなればなるほど
売上高・業績が良くなる

3. プレミアムフライデー

プレミアムフライデーとは？

- 毎月月末の金曜日は仕事を午後3時に終わらせて、個人消費をもっと増やそうという取り組み
- 2017年2月24日の金曜日から開始

プレミアムフライデー導入の目的

- 個人消費の活性化
- 働き方改革との連動
- 業務の効率化
- 従業員満足度の向上

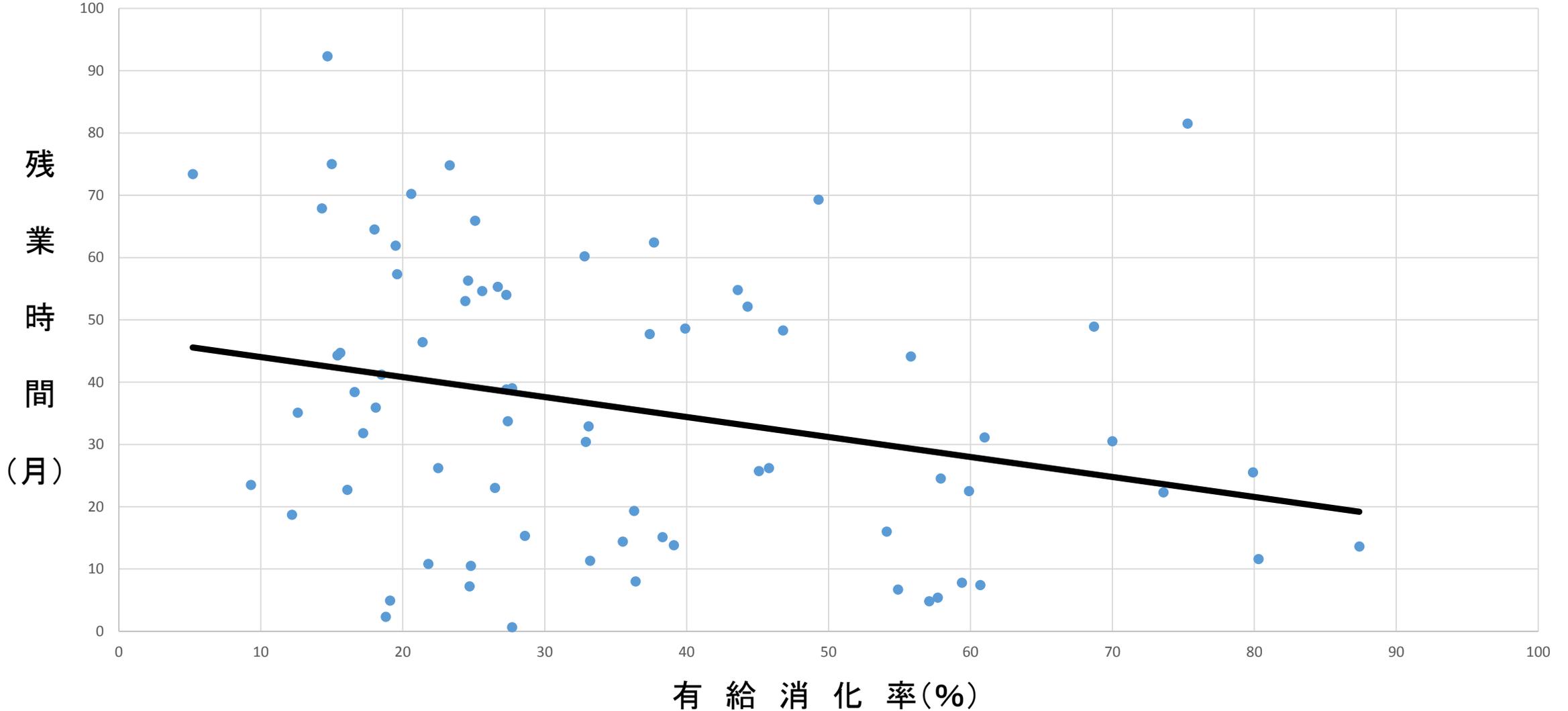


プレミアムフライデー導入のデメリット

- 午後3時で帰る人が少ない
- 時給で働く人への対策がされていない
- 月末の金曜日が諸々の締め日になっている

ブラック企業とプレミアムフライデー

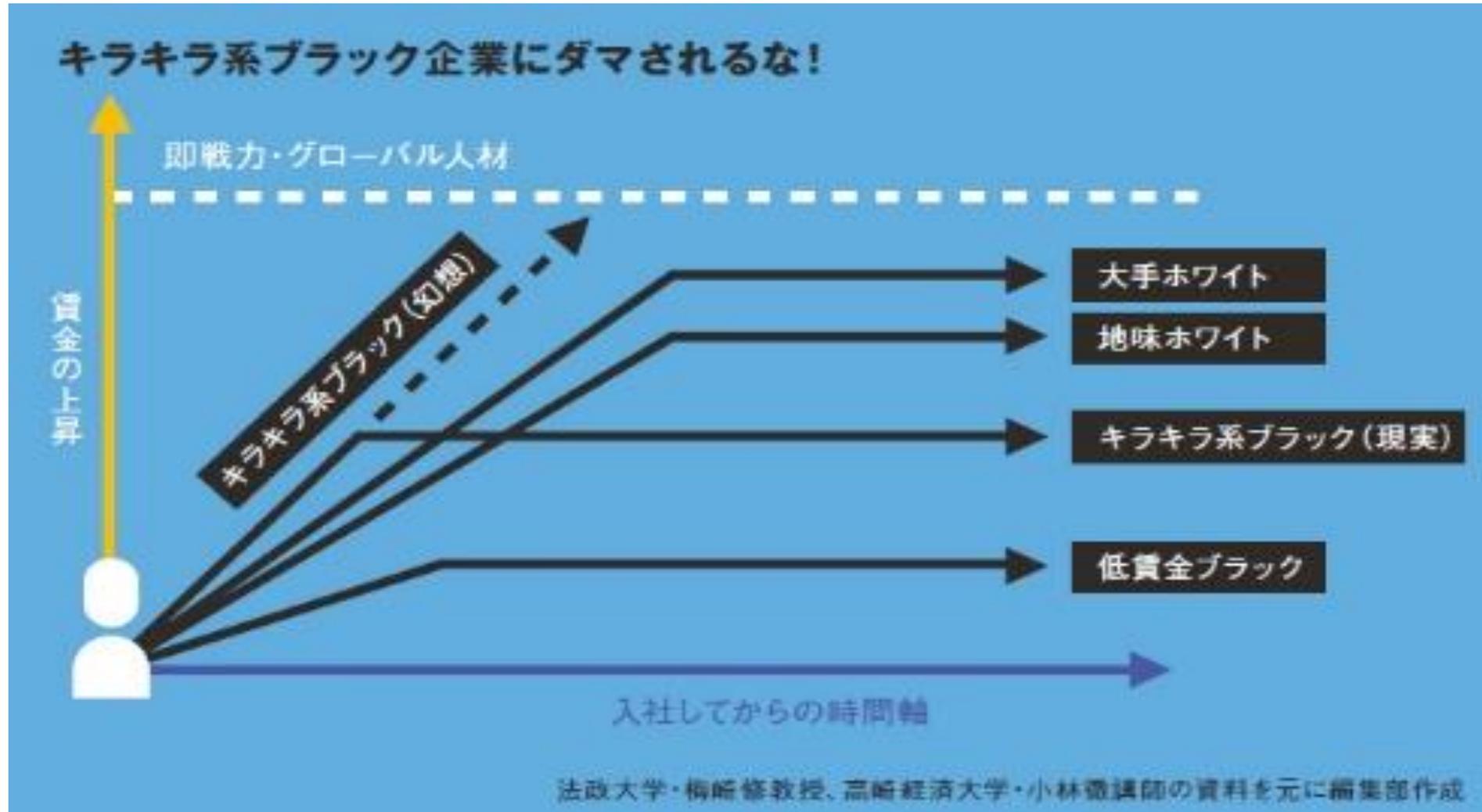
(プレミアムフライデーロゴマーク認証企業のうち100社)



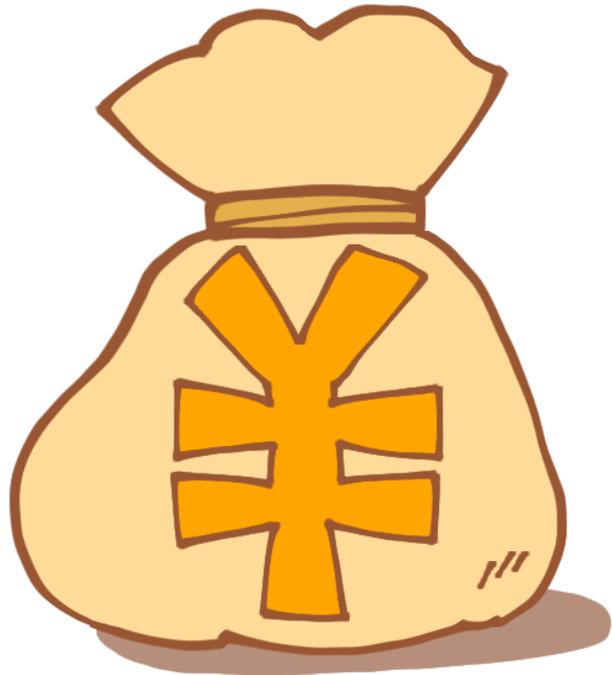
ブラック企業とプレミアムフライデーとの関係

- プレミアムフライデーを導入している企業ほどブラック企業という傾向にある。
- 有給消化の手段のひとつ
- 商戦の時は使わない

ブラック企業とホワイト企業



では、いったいなぜ労働環境の悪いといわれているブラック企業は利益を出し続ける経営ができているのか？



ブラック企業の強みとは

利益を生み出す経営

充実したサービスの提供

働き支え続ける社員

利益を生み続ける経営

安い賃金で長時間の労働

安くて充実したサービスの提供

利益とリピーターを生み続ける
求められる会社

働き支え続ける社員とは

辞めたくても辞めれない社員

- 家族やローンがある、転職先が見つからない

真面目で責任感の強い社員

- 日本人らしい謙虚な性格

働くことで何かメリットのある社員

- 賃金が高い、将来の役に立つ

労働者にも経営者にもメリットになる案

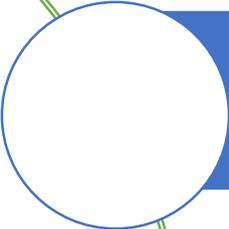
労働者



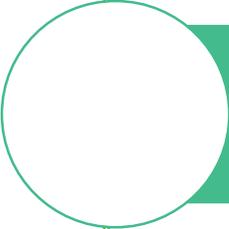
AIへ

4.AIの導入

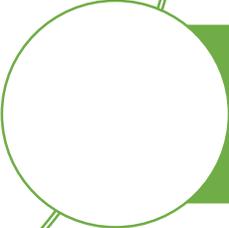
AI導入企業の事例



東芝のAI、ラグビーを鍛える 将来は製造現場へ展開

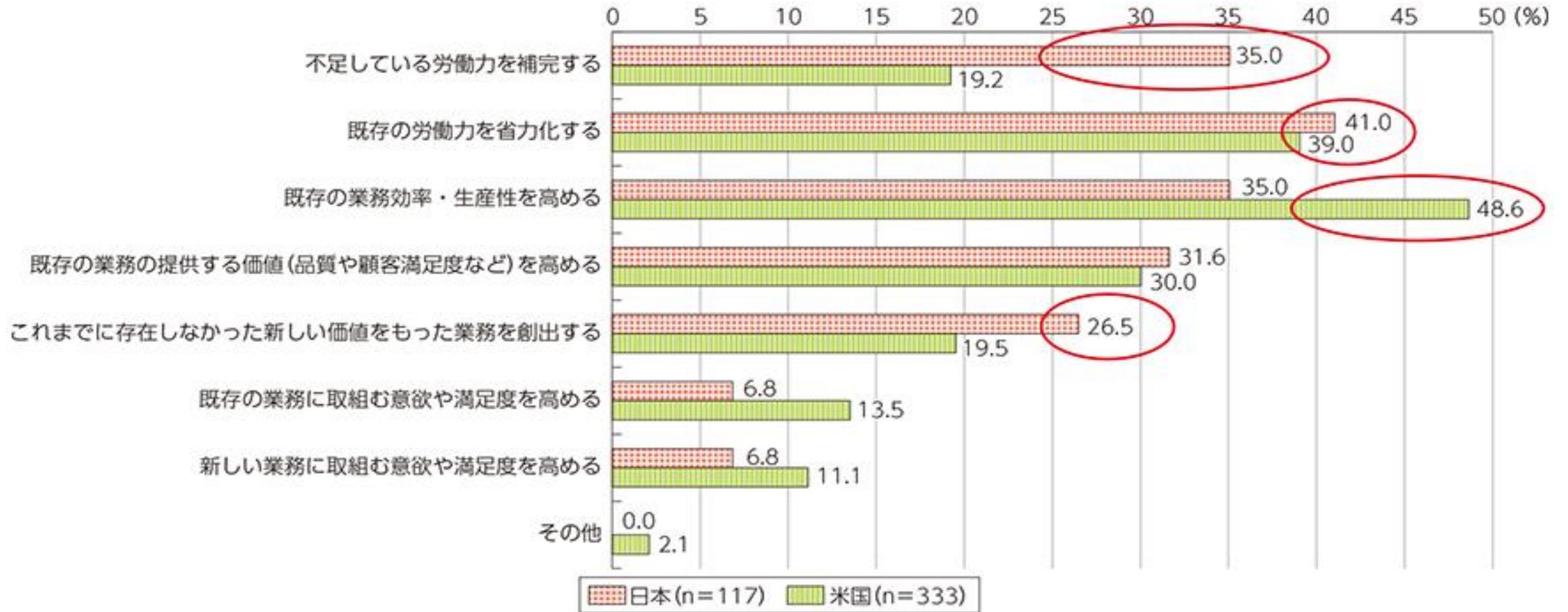


損保ジャパン日本興亜、AIで電話保留時間1割減



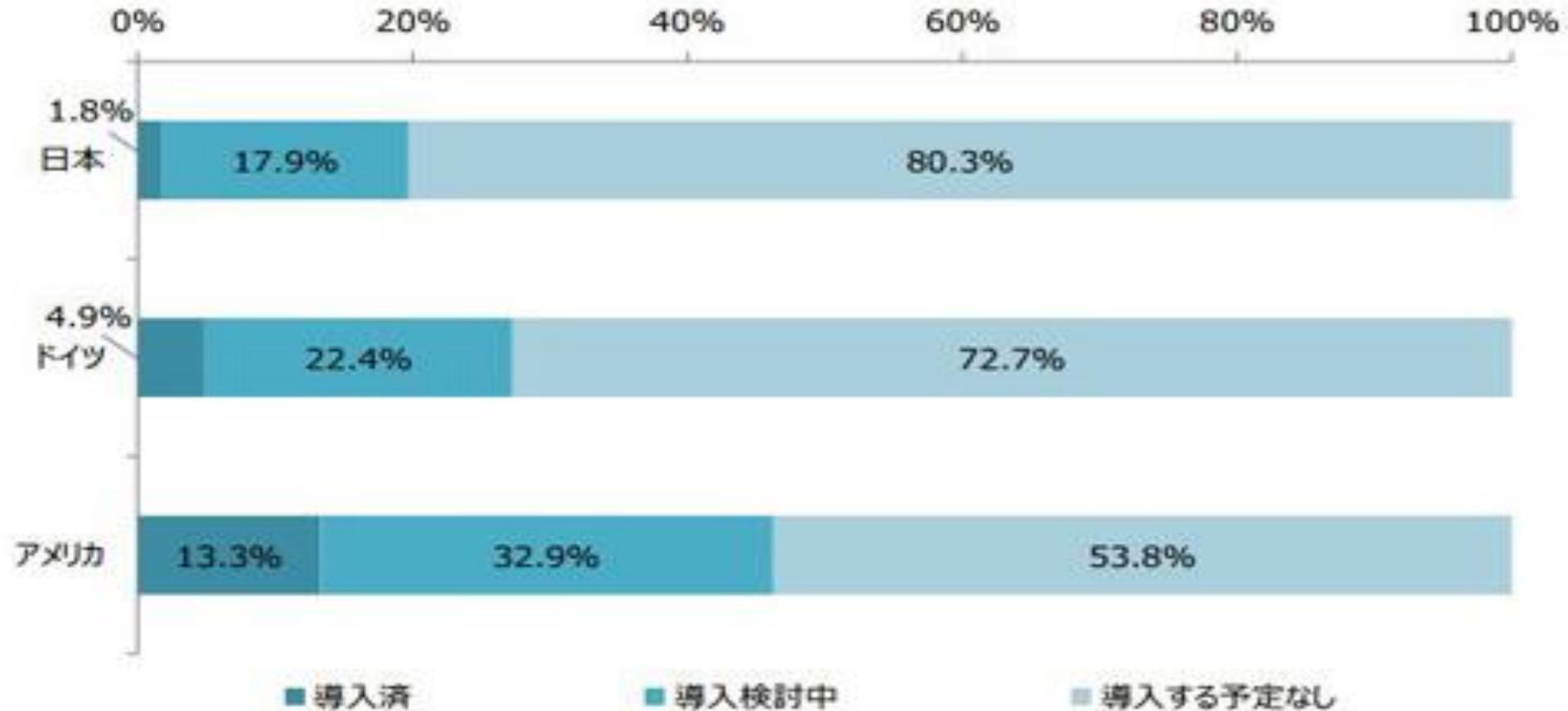
イトーヨーカ堂、AIで需要予測や出店判断

人工知能がはたす役割・機能



<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h28/html/nc143310.html>

AI導入率、日本企業は2%未満!?



米国の4大IT企業

Google

Apple

Facebook

Amazon

なぜ日本は他国に比べてAI技術が遅れているのか？

- 日本は海外に比べてAIに学習させるための膨大なデータを収集できるビジネスモデルがない。
- 研究予算が少ない
- リスクがあるゆえ、大企業がやりたがらない

AIが普及した後の影響

AI普及

- ・ 人事の管理・メンテナンス

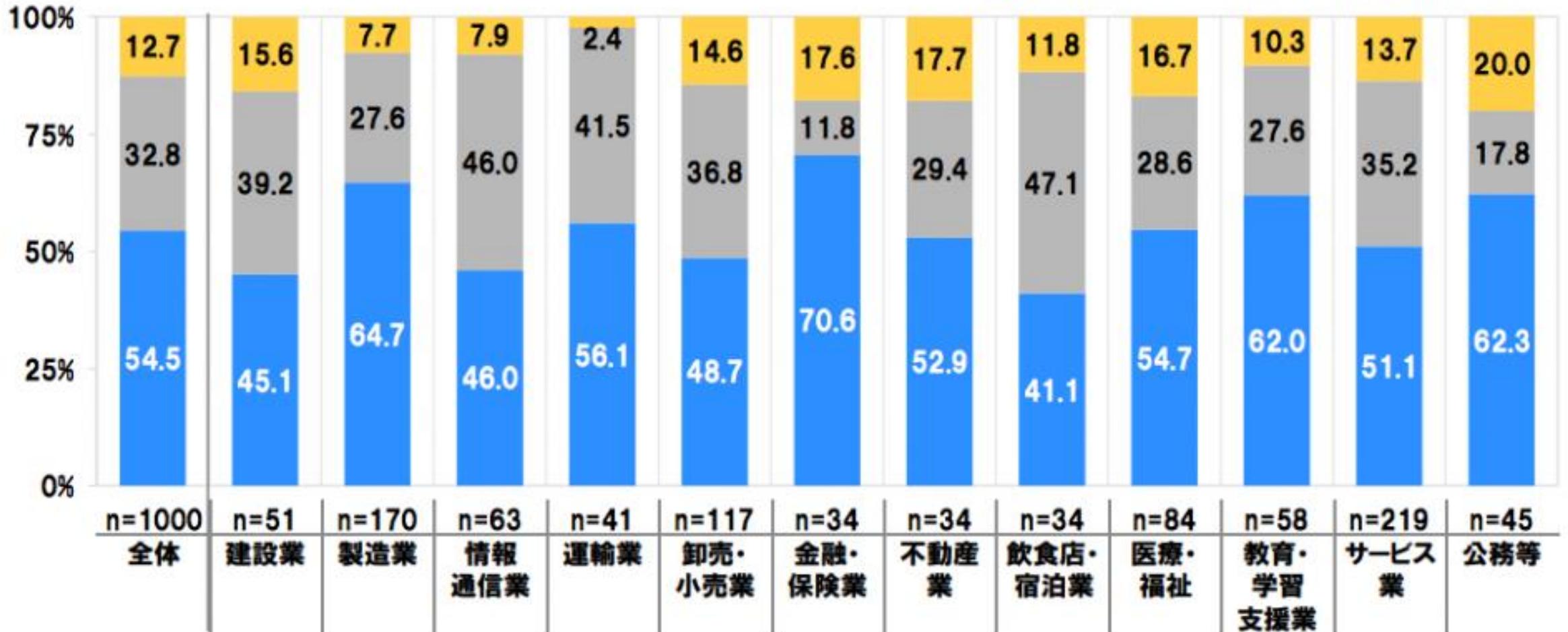
離職率下がる

- ・ AIが切り札

働きやすい職場

今後、AIが普及することに対してどう思うか（単一回答形式）

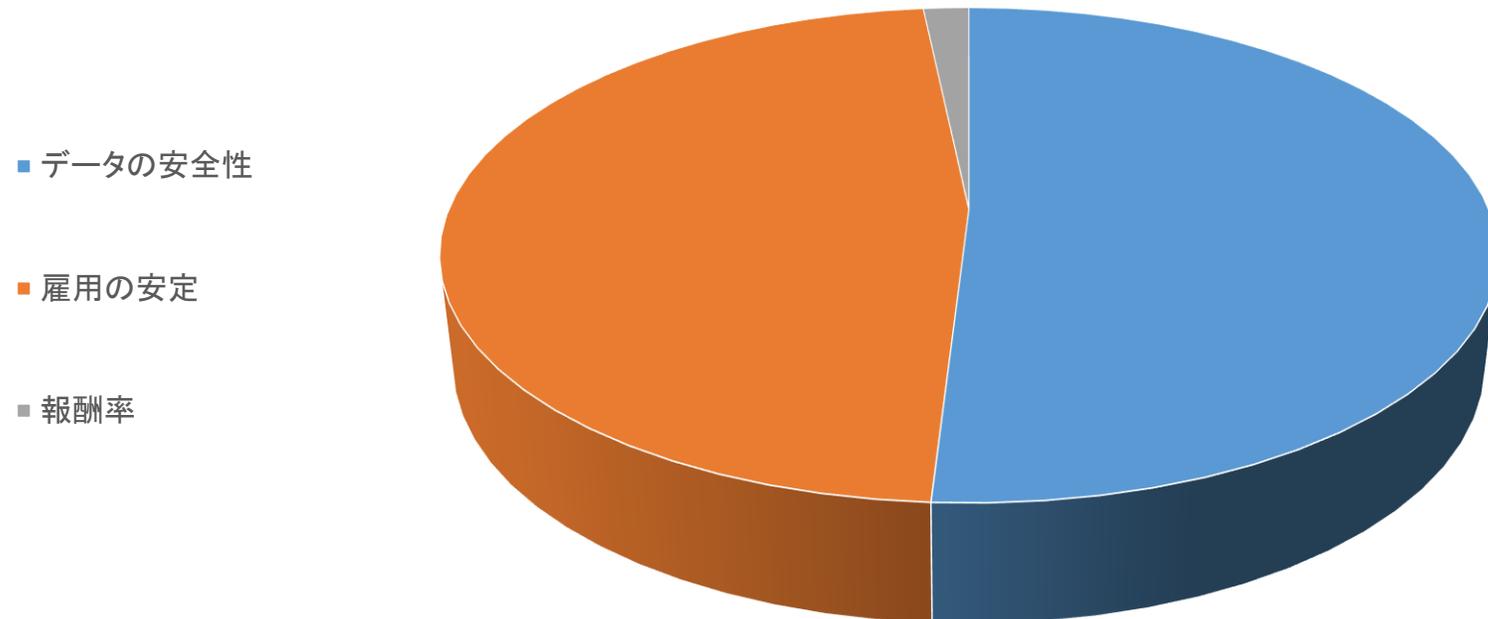
■ 期待している ■ どちらでもない ■ 不安である



AI導入による懸念

- AI導入企業の**90%**はAIのメリットを引き出せていない
- 支配権をAIに委ねる不安や、業界規制を満たせるかどうかの懸念など倫理的問題がAIの有効性を阻害してしまう。

AI採用の懸念



5.ブラック企業の今後

ブラック企業の今後

- ブラック企業をなくすことは、日本の経済を支えている企業を失うことに繋がるので今後同じような企業を出さないのが大切。
- 過労死・自殺者の原因になる会社の経営方針を変えることも必要になる。

参考文献

- プレミアムフライデーのグラフ
<https://honote.macromill.com/report/20170307/>
- AI普及のグラフ
<https://www.techfirm.co.jp/blog/office-changes-with-ai>
- 年次有給休暇のグラフ
<https://worklifefun.net/days-off-ration-h27/>

▪